

旅するカジの木、旅する神々 — 静御前と倭文（しづり） —

天上界から遣わされた二柱の武神は、地上の邪悪な神、草木、石の類のものをみな平定した。征伐できなかったのは星の神だけだった。それで織物の神〈倭文（しづり）〉を派遣すると服従した。——『日本書紀』

神話の舞台は、新海誠監督『君の名は』のモデル、常陸国・大甕神社。『すずめの戸締まり』『要石』のような「宿魂石」に、織物の神・倭文神タケハツチが、星の神カガセヲが封じ込めたと伝える。映画『旅するカジの木 倭文』を上映し、「大和高田の白拍子舞」とその根源「筑紫舞（傀儡子舞）」を実演。北村皆雄監督と筑紫舞伝承者・鈴鹿千代乃氏と共に、幻の織物〈倭文〉の神を祀る大和・常陸・筑紫の神社と神々の神話をたどり、静御前の〈芸能〉〈織物〉伝承の謎に挑む。しづやしづ しづのおだまき くりかへし 昔を今になすよしもがな ——『吾妻鏡』・『義経記』

来聴歓迎、聴講無料。映画の上映は会場のみです。
映画の配信は行いませんので、ぜひご来場ください。

日時：2025年12月7日（日）10:00-17:00

会場：大東文化会館ホール・302

ハイブリッド開催 Zoom <https://zoom.us/j/98156120201>

ミーティング ID: 981 5612 0201 パスコード: 950365

◆午前の部(ホール・302)

10:00 開会の辞

大東文化大学学長 高橋 進

□日本語学科学生による「日本文化特別演習」成果発表

■大和高田の白拍子舞「白拍子基（もと）の舞」

（指導）花柳楽彩／1年浅野寧々・安宅桃香・3年江田あずさ

■長唄「七福神」

（指導）杵屋喜太郎／1年本間源人・水上湊也

■朗読劇 宮澤賢治『やまなし』

（指導）菅野友巳・藏中しのぶ／お父さんの蟹：2年藤森祐紀

兄の蟹：1年益子夏帆 弟の蟹：1年安宅桃香

語り：4年檀直希 2年保科五郎 1年中西優月

□日本語文化学専攻・大学院生研究発表

■博士課程前期課程（ホール）

10:45-11:15 作文活動の協働による学習者の自己推敲能力の向上

—コーパスを用いた分析から—

日本語文化学専攻博士前期課程1年 中村征嗣

11:20-11:50 元禄八年刊・居初津奈『女誠絵入女実語教』の構成

—『実語教』『童子教』との比較を通して—

日本語文化学専攻博士前期課程2年 陳珮琳

■博士課程後期課程（302）

10:45-11:15 宮沢賢治作品におけるアスペクト表現とラオス語訳の対応

日本語文化学専攻博士後期課程3年 ホーラーヌパーブ・シースダー

11:20-11:50 依頼表現のポライトネスに影響する対人関係と心的負担

—中国人日本語学習者と日本語母語話者の評価から—

日本語文化学専攻博士後期課程修了・語学教育研究所特別研究員 趙丹楠

◆午後の部（ホール） 国際シンポジウム 旅するカジの木、旅する神々— 静御前と倭文 —

コーディネーター・司会 日本語文化学専攻主任 藏中しのぶ

映画監督・映像民俗学・人類学 北村皆雄

13:00-13:25 ■講演 衣の神話から

13:25-15:25 □映画上映「倭文—旅するカジの木」

15:25-15:40 休憩

15:40-16:00 ■講演 タケハツチ、カガセヲ、そして静御前

神戸女子大学名誉教授 鈴鹿千代乃

16:05-16:20 □大和高田の白拍子舞

「日の本の榮」白拍子錦、「あそびをせんとや」花柳楽あやめ・藤永夕貴乃、「よしのやま」白拍子錦

□筑紫舞（傀儡子舞）「案山子（かがし）」「浮き神」

神戸神事芸能研究会 金井由美子

■パネル・ディスカッション

司会・藏中しのぶ／パネリスト・北村皆雄・鈴鹿千代乃

▷コメンテーター

日本語文化学専攻修了・ナポリ東洋大学准教授 アントニオ・マニエーリ

▷活動報告・日本語学科教員の研究と地域連携

地域言語の記憶を映像化する

日本語学科特任准教授

藤田ラウンド幸世

日琉祖語の研究

日本語学科助教・語学教育研究所研究員

サルヴァトーレ・カルリノ

17:00 閉会の辞

日本語学科主任 田崎敦子

主催：大東文化大学大学院外国語学研究科日本語文化学専攻 後援：大和高田市文化振興課

共催：大東文化大学外国語学部日本語学科・外国語学会日本語部会・大東文化大学東洋研究所

大東文化大学語学教育研究所・国際交流センター・地域連携センター・入学センター

お問い合わせ：大東文化大学 外国語学部事務局 大学院担当

